

別記

第1号様式（第5条関係）

記入例

京都府奨学のための給付金申請書

令和8年 7月 1日

京都府知事 様

記入年月日

京都府奨学のための給付金支給要綱に基づき、給付金の受給を申請します。

次の5点を確認の上、□にレ印を記入してください。

☒	この申請書の記載内容は、事実に相違ありません。
☒	この申請書に虚偽の記載があった場合は、京都府の求めに従いその全額を即時返還します。
☒	私は、京都府以外の都道府県に奨学のための給付金の申請を行っておりません。
☒	この申請の対象となる高校生等（母子生活支援施設に入所している者を除く。）は、「児童福祉法による児童入所施設措置費等国庫負担金について」に基づく措置費等のうち、見学旅行費又は特別育成費のいずれについても支弁対象者となっております。
☒	京都府奨学のための給付金支給要綱第1条に規定する給付金（以下「給付金」という。）と次に掲げる同種の資金との併給調整に当たり、給付金の申請書及び添付書類に含まれる個人情報を、知事が当該個人情報の利用目的以外の目的で利用し、又は京都府教育委員会に提供することに同意します。 (1) 京都府高等学校定時制課程及び通信制課程修学奨励金の貸与に関する条例（昭和50年京都府条例第10号）第2条に規定する修学奨励金 (2) 京都府高等学校等修学資金の貸与に関する条例（平成14年京都府条例第34号）第2条第3号に規定する修学金 (3) 交通遺児奨学金等支給要綱（昭和44年京都府告示第136号）第1に規定する奨学金等 (4) 京都府高校生給付型奨学金等支給要綱（昭和51年京都府告示第174号）第1に規定する奨学金等 令和8年7月1日時点で、生徒が18歳以上の場合 には、当該生徒の署名が必要です。 高校生等の署名

1 申請者に関する事項

フリガナ	キョウト タロウ	〒 602-8570
申請者氏名	京都 太郎	申請者住所 京都府京都市上京区下立売通新町西入薮ノ内町 ○番地○ ◇◇住宅××号
高校生等との関係	親権者・未成年後見人・未成年後見人である里親・主たる生計維持者 ・高校生等本人・その他（ ）	
連絡先電話番号	***-***-***	

※ 専攻科の場合、「親権者」とあるのは、「父母」と読み替えてください。

日中に連絡の取れる電話番号
を記入してください。

2 高校生等に関する事項

フリガナ	キョウト イチロウ	生年月日	平成22 年 6 月 1 日						
氏名	京都 一郎	所在地	京都 都道府県 京都市上京 市区町村	課程	☒ 全日制 ☐ 定時制 ☐ 通信制 ☐ 専攻科				
在学する学校	学校の名称	国公立 私立	▲▲高等学校	学年等	1 年 1 組 10 番				
	在学期間	令和8 年 4 月 1 日 ~ 在学中			在学中に給付金を受給した回数 なし ☒ 1回 ☐ 2回 ☐ 3回 ☐ 4回 ☐ 不明 ☐				
	前籍校（高等学校等）における在学期間	国公立 私立	年 月 日 ~	在学中に給付金を受給した回数 1回 ☐ 2回 ☐ 3回 ☐ 4回 ☐ 不明 ☐					

高校等の前籍校があれば記入してください。
中学校以前の学歴は記入不要です。

★生活保護法による「生業扶助(高等学校等就学費)」を受給している世帯の場合

3 保護者等に関する事項

高校生等の保護者等全員（申請者を含む。）について記入してください。

フリガナ	キョウト タロウ	住所	〒 ☑申請者住所と同じであるため、記入を省略します。
氏名	京都 太郎		
高校生等との関係	親権者 未成年後見人・未成年後見人である里親・主たる生計維持者 ・高校生等本人・その他（ ）		
フリガナ	キョウト ハナコ	住所	〒 ☑申請者住所と同じであるため、記入を省略します。
氏名	京都 花子		
高校生等との関係	親権者 未成年後見人・未成年後見人である里親・主たる生計維持者 ・高校生等本人・その他（ ）		

※ 専攻科の場合、「親権者」とあるのは、「父母」と読み替えてください。

保護者等の住所が京都府外である場合、その理由を記入してください。

4 生業扶助（高等学校等就学費に限る。）受給の有無について

申請年度の7月1日における生活保護法（昭和25年法律第144号）第36条の規定による生業扶助（高等学校等就学費に限る。）受給の有無について、当てはまる□にレ印を付けてください。



私の世帯は、生業扶助（高等学校等就学費に限る。）を受給していません。

→ 5に記入してください。



私の世帯は、生業扶助（高等学校等就学費に限る。）を受給しているため、受給していることが確認できる生活保護受給証明書を提出します。

→ 5に記入する必要はありません。

・令和8年7月1日時点で、生活保護法による「生業扶助(高等学校等就学費)」を受給している場合、生業扶助を受給していることが分かる生活保護受給証明書を添付してください。

※生活保護を受けている世帯でも、「生業扶助(高等学校等就学費)」を受給していない場合には「私の世帯は、生業扶助(高等学校等就学費に限る。)を受給していません」に☑をしてください。

※生活保護を受けている方で、「生業扶助(高等学校等就学費)」を受給しているか不明な場合は、お住まいの地域の市役所、町村役場又は府保健所にお問い合わせください。

このページで他に記入いただく箇所はありません。

**★生活保護法による「生業扶助(高等学校等就学費)」を受給していない世帯で
親権者が2名いる世帯の場合**

3 保護者等に関する事項

高校生等の保護者等全員（申請者を含む。）について記入してください。

フリガナ	キョウト タロウ	住所	〒
氏名	京都 太郎		
高校生等との関係	☒ 申請者住所と同じであるため、記入を省略します。 親権者・未成年後見人・未成年後見人である里親・主たる生計維持者 ・高校生等本人・その他（ ）		
フリガナ	キョウト ハナコ	住所	〒
氏名	京都 花子		
高校生等との関係	☒ 申請者住所と同じであるため、記入を省略します。 親権者・未成年後見人・未成年後見人である里親・主たる生計維持者 ・高校生等本人・その他（ ）		

※ 専攻科の場合、「親権者」とあるのは、「父母」と読み替えてください。

保護者等の住所が京都府外である場合、その理由を記入してください。

4 生業扶助（高等学校等就学費に限る。）受給の有無について

申請年度の7月1日における生活保護法（昭和25年法律第144号）第36条の規定による生業扶助（高等学校等就学費に限る。）受給の有無について、当てはまる□にレ印を付けてください。

☒ 私の世帯は、生業扶助（高等学校等就学費に限る。）を受給していません。

→ 5に記入してください。

☒ 私の世帯は、生業扶助（高等学校等就学費に限る。）を受給しているため、受給していることが確認できる生活保護受給証明書を提出します。

**該当する□にチェックの上、令和8年度の課税証明書等を提出してください。
チェックを記入する箇所については、記入例の「チェック箇所確認シート」を確認してください。**

5 保護者等の所得状況等の確認について

提出する書類について、(1)又は(2)のうち、当てはまる□にレ印を付けてください。

(1) 次の者の課税証明書等を提出します。

①	☒	親権者（両親）2名分
②	☐	親権者1名分（次のアからウまでの理由のうち、当てはまる□にレ印を付けてください。）
	ア ☐	控除対象配偶者である親権者の前年の収入が100万円以下であり、当該年度の道府県民税所得割及び市町村民税所得割が課税されていないため
	イ ☐	離婚、死別等により親権者が1名であるため
	ウ ☐	親権者が2名存在するものの、事情（ドメスティックバイオレンス、養育放棄等）によりやむを得ず一方の親権者の課税証明書等を提出できないため
③	☐	未成年後見人（ ）名分
④	☐	高校生等の生計をその収入により維持している者（主たる生計維持者）2名分
⑤	☐	主たる生計維持者1名分
⑥	☐	高校生等本人

※ 専攻科の場合、「親権者」とあるのは、「父母」と読み替えてください。

(2) 次の理由により、課税証明書等を提出しません。

☐ 所得確認の対象が未成年の高校生等本人（親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合）であるが、道府県民税及び市町村民税の所得割を課されるだけの収入を得ていません。

**★生活保護法による「生業扶助(高等学校等就学費)」を受給していない世帯で
親権者が1名の世帯の場合**

3 保護者等に関する事項

高校生等の保護者等全員（申請者を含む。）について記入してください。

フリガナ	キョウト タロウ	住所	〒
氏名	京都 太郎		
高校生等との関係	☒ 申請者住所と同じであるため、記入を省略します。 親権者・未成年後見人・未成年後見人である里親・主たる生計維持者 ・高校生等本人・その他（ ）		
フリガナ		住所	〒
氏名			
高校生等との関係	☐ 申請者住所と同じであるため、記入を省略します。 親権者・未成年後見人・未成年後見人である里親・主たる生計維持者 ・高校生等本人・その他（ ）		

※ 専攻科の場合、「親権者」とあるのは、「父母」と読み替えてください。

保護者等の住所が京都府外である場合、その理由を記入してください。

4 生業扶助（高等学校等就学費に限る。）受給の有無について

申請年度の7月1日における生活保護法（昭和25年法律第144号）第36条の規定による生業扶助（高等学校等就学費に限る。）受給の有無について、当てはまる□にレ印を付けてください。

☒	私の世帯は、生業扶助（高等学校等就学費に限る。）を <u>受給していません</u> 。
-------------------------------------	---

→ 5に記入してください。

☒	私の世帯は、生業扶助（高等学校等就学費に限る。）を受給しているため、受給していることが確認できる生活保護受給証明書を提出します。
-------------------------------------	--

**該当する□にチェックの上、令和8年度の課税証明書等を提出してください。
チェックを記入する箇所については、記入例の「チェック箇所確認シート」を確認してください。**

5 保護者等の所得状況等の確認について

提出する書類について、(1)又は(2)のうち、当てはまる□にレ印を付けてください。

(1) 次の者の課税証明書等を提出します。

①	☐	親権者（両親）2名分
②	☒	親権者1名分（次のアからウまでの理由のうち、当てはまる□にレ印を付けてください。）
	ア ☐	控除対象配偶者である親権者の前年の収入が100万円以下であり、当該年度の道府県民税所得割及び市町村民税所得割が課税されていないため
	イ ☒	離婚、死別等により親権者が1名であるため
	ウ ☐	親権者が2名存在するものの、事情（ドメスティックバイオレンス、養育放棄等）によりやむを得ず一方の親権者の課税証明書等を提出できないため
③	☐	未成年後見人（ ）名分
④	☐	高校生等の生計をその収入により維持している者（主たる生計維持者）2名分
⑤	☐	主たる生計維持者1名分
⑥	☐	高校生等本人

※ 専攻科の場合、「親権者」とあるのは、「父母」と読み替えてください。

(2) 次の理由により、課税証明書等を提出しません。

☐	所得確認の対象が未成年の高校生等本人（親権者、未成年後見人又は主たる生計維持者のいずれも存在しない場合）であるが、道府県民税及び市町村民税の所得割を課されるだけの収入を得ていません。
--------------------------	---

6 在学状況等に関する証明

申請年度の7月1日に在学する学校の校長による証明を受けてください。

- 1 この申請に係る生徒は、申請年度の7月1日現在、本校に在学しています。
- 2 この申請に係る生徒に関する高等学校等在学期間は、この申請書に記載のとおりです。
- 3 本校は、高等学校等就学支援金の支給対象校です。
- 4 この申請に係る生徒は、高等学校等就学支援金（又は学び直し支援金）の支給を受ける資格を有する者です。
- 以上、証明します。

学校が記入する欄です。

年 月 日

学校の所在地

学校名

印

校長名

7 給付金の振込先口座

振込先口座									
★★		銀行 金庫 組合	▼▼▼			本店 支店 出張所	預金種別 ☒ 普通 ☐ 当座		
口座番号		口座名義人（フリガナ）					金融機関コード※記入不要		
* * * * *		姓 キョウト			名 タロウ				

- 注 1 振込先口座については、原則として申請者が開設する口座を記入してください。
やむを得ず申請者以外の者が開設する口座を振込先とする場合は、委任状を添付してください。
- 2 上記の情報を確認することができる振込先口座の通帳の写し等を添付してください。

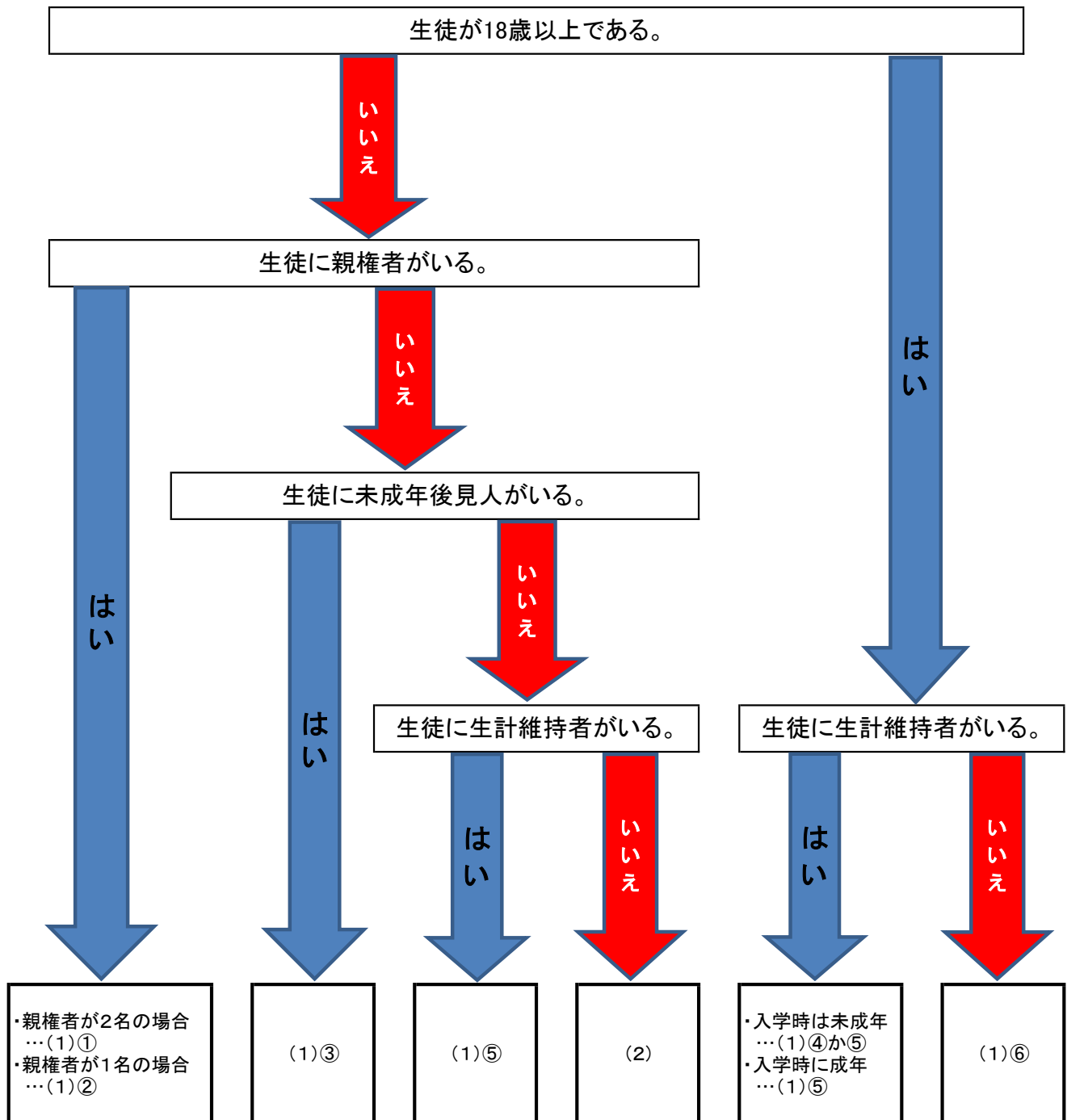
原則、申請者が開設する口座を記入してください。やむを得ず、申請者以外が開設する口座を振込先とする場合には、受領委任状の提出が必要になります。

通帳の写し等を貼付してください。

申請書 項目5 チェック箇所確認シート

※必ず、令和8年7月1日時点の状況で確認してください。

※チェック箇所に書かれている書類を、申請書と一緒に提出してください。



京都府知事 様

高校生等の国籍・在留資格等について

日本国籍以外の場合

申請者氏名	京都 太郎
高校生等氏名	京都 一郎

ア. 高校生等の国籍について (必ず記入してください)

次のいずれかの該当する□にレ印を付けてください。

高校生等本人の国籍を以下のとおり申請します。		
①	☐	日本国 (→ウへ進んでください。)
②	☒	日本国以外 (→イへ進んでください。)

イ. 日本国籍でない高校生等の在留資格・在留期間等について

アで②「日本国以外」を選択した場合は、次の③～⑨のいずれかの該当する□にレ印を付けてください。また、必要事項を記入してください。

高校生等本人の在留資格・在留期間等を以下のとおり申請します。				
③	☐	特別永住者	例) 定住者の場合	
④	☐	永住者		
⑤	☐	日本人の配偶者等	在留期間(満了日)	年 月 日
⑥	☐	永住者の配偶者等	在留期間(満了日)	年 月 日
⑦	☒	定住者	在留期間(満了日)	2030年3月30日
			日本国に永住する意思の有無	☒ はい(あり) ☐ いいえ(なし)
⑧	☐	家族滞在	在留期間(満了日)	年 月 日
			日本国の小学校の卒業の有無等	☐ 卒業した ☐ 卒業していない
			小学校名	
			所在地	都・道・府・県
			日本国の中学校の卒業の有無等	☐ 卒業した ☐ 卒業していない
			中学校名	
			所在地	都・道・府・県
			日本国で就労する意思の有無	☐ はい(あり) ☐ いいえ(なし)
⑨	☐	上記以外の在留資格	在留期間(満了日)	年 月 日

(→ウへ進んでください。)

ウ. 高等学校等就学支援金又は高校生等・新修学支援の認定結果等を利用することの同意
高等学校等就学支援金又は高校生等・新修学支援を申請している（※）場合は、以下の□にレ印を記入してください。

☒	この申請の審査に必要な事項について、京都府が高校生等に係る高等学校等就学支援金又は高校生等・新修学支援の認定や受給状況等の情報を利用することに同意します。
-------------------------------------	---

以下の欄に高校生等本人が署名してください。 申請者による代筆も可能です。

フリガナ	キョウト イチロウ
生徒氏名	京都 一郎

京都府知事 様

高校生等の国籍・在留資格等について

日本国籍の場合

申請者氏名	京都 太郎
高校生等氏名	京都 一郎

ア. 高校生等の国籍について (必ず記入してください)

次のいずれかの該当する□にレ印を付けてください。

高校生等本人の国籍を以下のとおり申請します。	
①	☒ 日本国 (→ウへ進んでください。)
②	☐ 日本国以外 (→イへ進んでください。)

イ. 日本国籍でない高校生等の在留資格・在留期間等について

アで②「日本国以外」を選択した場合は、次の③～⑨のいずれかの該当する□にレ印を付けてください。また、必要事項を記入してください。

高校生等本人の在留資格・在留期間等を以下のとおり申請します。			
③	☐	特別永住者	
④	☐	永住者	
⑤	☐	日本人の配偶者等	在留期間(満了日) 年 月 日
⑥	☐	永住者の配偶者等	
⑦	☐	定住者	在留期間(満了日) 年 月 日
		日本国に永住する意思の有無	☐ はい(あり) ☐ いいえ(なし)
⑧	☐	家族滞在	在留期間(満了日) 年 月 日
		日本国の小学校の卒業の有無等	☐ 卒業した ☐ 卒業していない
		小学校名	
		所在地	都・道・府・県
		日本国の中学校の卒業の有無等	☐ 卒業した ☐ 卒業していない
		中学校名	
		所在地	都・道・府・県
		日本国で就労する意思の有無	☐ はい(あり) ☐ いいえ(なし)
⑨	☐	上記以外の在留資格	在留期間(満了日) 年 月 日

(→ウへ進んでください。)

ウ. 高等学校等就学支援金又は高校生等・新修学支援の認定結果等を利用することの同意
高等学校等就学支援金又は高校生等・新修学支援を申請している（※）場合は、以下の□にレ印を記入してください。

☒	この申請の審査に必要な事項について、京都府が高校生等に係る高等学校等就学支援金又は高校生等・新修学支援の認定や受給状況等の情報を利用することに同意します。
-------------------------------------	---

以下の欄に高校生等本人が署名してください。申請者による代筆も可能です。

フリガナ	キョウト イチロウ
生徒氏名	京都 一郎

※原則、振込先の口座は申請者のものを指定してください。

申請者の口座が利用できない場合には、本紙を記入することで、別の者の口座を振込先に指定することができます。

令和8年7月1日

京都府知事 様

京都府奨学のための給付金受領委任状

振込先口座の名義人を記入してください。

私は、★を代理人と定め、京都府奨学のための給付金の受領に関する一切の権限を委任します。

フリガナ	
申請者の氏名	
申請者の住所	〒 ー

フリガナ	
生徒の氏名	
フリガナ	
学校名	
課程 (あてはまるものに ○をつける)	全日制・定時制・通信制・専攻科
学年等	年 組 番

全ての項目について記入してください。

【記入上の注意】

★に、振込先となる口座名義人の氏名を記入してください。

全ての項目を記入してください。

間違えた場合は、二重線を引き、修正してください。

本紙は、申請者が生徒の「主たる生計維持者」である場合にのみ提出してください。（親権者を除く。）

令和8年 7月 1日

扶 養 誓 約 書

京都府知事 様

申請者住所： 京都府京都市上京区下立売通
新町西入藪ノ内町 ○番地

必ず☑を記入してください。

申請者氏名： 京都 梅子

以下の事項を必ず確認の上、□にレ印及び必要事項を記入してください。



この誓約書の記載内容は、事実と相違ありません。

私と下記の者は、健康保険法等における扶養者と被扶養者の関係と同等の関係にあることを誓約します。

生徒氏名	京都 桜子
生徒との続柄（注）	孫

（注）「養子」「孫」など、申請者から見た生徒との続柄を記載してください。

【記入上の注意】

- ・ 本紙は、申請者が生徒の主たる生計維持者である場合に提出が必要です。
ただし、申請者が生徒の親権者や生徒本人の場合、提出は不要です。
- ・ 記載内容に不備があれば、再提出を求めることがあります。